

# パブリックコメントの実施結果について(概要)

資料2

## 1. パブリックコメント実施概要

実施期間: 令和5年1月27日(金)から令和5年2月27日(月)まで

周知方法: 産業政策課窓口・各区役所市政情報コーナー、静岡市ホームページ  
(報道機関に情報提供)

提出方法: 持参、郵送、FAX、電子申請のいずれか

## 2. 結果概要

提出いただいた意見書件数 40件

記述式設問の回答数 147件

うち「計画に記載済」  
「計画に反映」

56件

10件

(うちPRに関するもの: 9件)

「今後の取組の参考」

81件

## 3. 属性

居 住: 市内33件(葵区13件、駿河区13件、清水区7件)、県内6件、県外1件

年 齢: 19歳以下: 1件、20代: 3件、30代: 11件、40代: 9件、50代: 10件、60代: 6件

提出方法: オンライン33件、紙提出7件

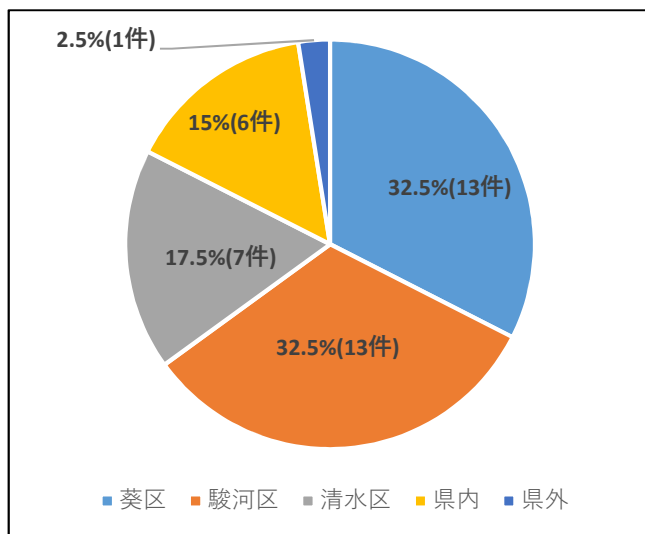
職 業: 会社員・公務員: 29件、自営業: 1件、専業主婦(夫): 1件、学生4件、パート・アルバイト: 5件

※会社員・公務員、自営業、パート・アルバイトの方の業種(計: 35件)

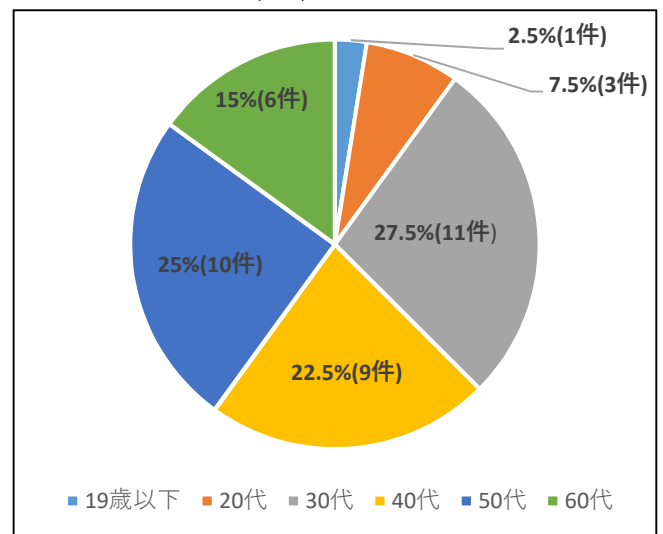
建設業: 2件、製造業: 6件、情報通信業: 2件、運輸業: 2件、卸・小売業: 5件、金融・保険業: 2件

その他サービス業: 15件、その他: 1件

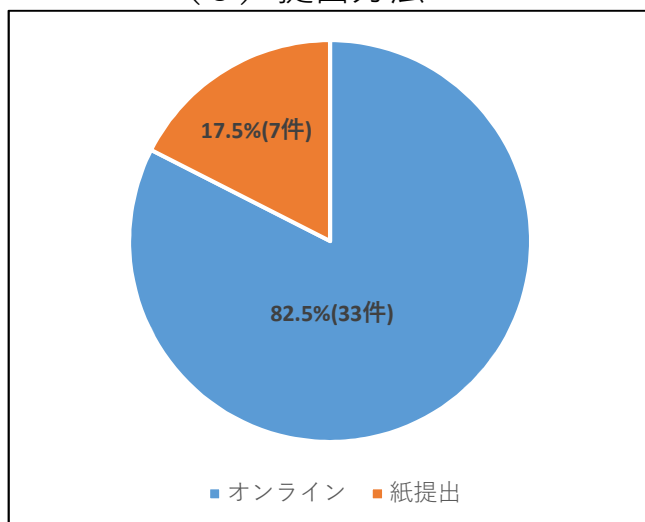
(1) 住所



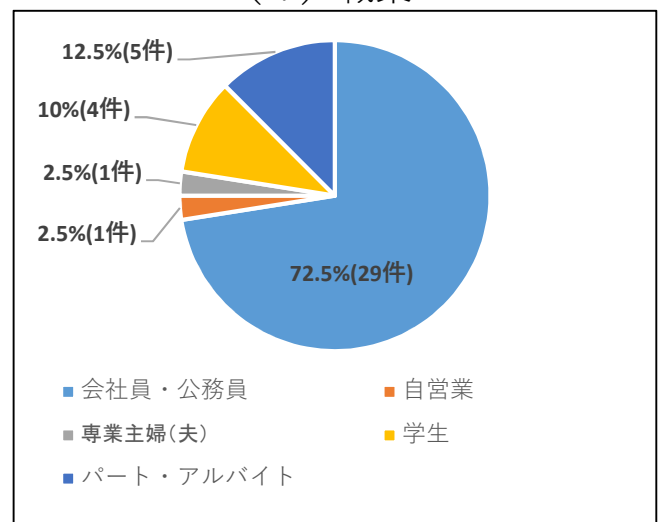
(2) 年代



(3) 提出方法



(4) 職業



## 結果の概要

### 【結果の概要】

#### ・本計画案について、おおむね賛同を得られた。

Q3 「第3次 静岡市産業振興プランの案をご覧になり、その内容について、あなたはどのように思いましたか。」

#### 【回答内訳】

「共感できる」	10件(25.0%)
「まあまあ共感できる」	28件(70.0%)
「あまり共感できない」	1件(2.5%)
「共感できない」	0件(0%)
「わからない」	1件(2.5%)

#### 【理由:主なもの】

「共感できる」	現状や課題が整理されていると思う。
「まあまあ共感できる」	地域の賑わいに関する記述があるため。
「あまり共感できない」	内容が難しい。
「わからない」	産業全体の計画なので、内容が正解なのか分からない。

## 基本方針に関する意見について

「基本方針① 共創によるイノベーション創出の推進」に関する意見	10件
「基本方針② 企業の競争力や成長力の強化」に関する意見	5件
「基本方針③ 本市産業を支える人材の育成・確保」に関する意見	13件
「基本方針④ 選ばれる「地域」を目指した本市プレゼンスの最大化」に関する意見	14件

#### 【主な意見】

基本方針①:中小企業が1社でできる範囲は限られているので、良い取り組みだと思う。

基本方針②:企業の積極的な取り組みに対して後押しとなる支援をいただきたい。

基本方針③:人口減少が確実に進行していく中で、人材の育成は全産業共通の課題である。

基本方針④:まちの賑わいづくりを進めてほしい。市の魅力をPRする必要がある。

#### 【まとめ】

・各基本方針について、おおむね賛同を得られた。

・地域づくりに関する意見が最も多く寄せられた。まちの賑わいづくりやそのための魅力づくりに関して意見が多く寄せられた。

・共創によるイノベーション創出や人材育成に関しても関心が高かった。行政に各企業の取り組みの下支えを期待する声が多い。

## 重点的取組に関する意見について

「重点的取組① 戦略産業の振興」に関する意見	27件
「重点的取組② 社会課題の解決に向けた横断的取組」に関する意見	12件

#### 【主な意見】

重点的取組①:静岡市の強みを活かしてほしい。市の魅力を市外の人に知ってもらい取り組みを希望する。

重点的取組②:DX化などの取り組みは中小企業単体では厳しいので支援をお願いしたい。

#### 【まとめ】

・戦略産業の振興について、特に「観光・ブランド産業」に関する意見が多く寄せられた。

また、それに関連して市が行っている施策のPRに関する意見が多く寄せられた。

・脱炭素やDX・デジタル化の取り組みについては、必要性は理解しつつも、現実問題として手が付けられないため、行政に支援してほしいとの声が多い。

## 静岡市の産業を発展させるために必要な取り組みやアイデアについて

意見総数:33件

#### 【主な意見:複数人の記載があったもの】

・企業の誘致に力を入れてほしい。

・市主催のビジネスコンテスト開催や外部の専門家などを活用する等、第3者のアイデアを募る。

#### 【まとめ】

・賑わいづくりや人手不足の観点から、企業誘致に関する意見が複数人から寄せられた。

・市の産業の発展のためには、行政外の知見を活用するべきという意見が複数人から寄せられた。